

LIMEX ロールメディアをご利用にあたって

はじめに

この度は弊社製品をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。

このファイルには LIMEX ロールメディア(以下 LIMEX)を使用するための情報が記載されています。

ご使用前に必ずお読みいただきますようお願いいたします。

* LIMEX 銘柄

・LJD-183 200(白) 幅 1270mm×長さ 30m×厚さ 200 μ (3インチ紙管)

・LJU-183 200(乳白)幅 1270mm×長さ 30m×厚さ 200 μ (3インチ紙管)

LIMEX 用デバイスプロファイル設定値

<プロファイル名:LIMEX NCPS-2A:印刷設定内容>

インク セット	印刷モード	パス 回数	印刷 方向	ヒーター温度				巻取り 装置	吸着ファン 設定	静電 シート
				プレ	プリント	ポスト	ファン			
6色+W	標準モード	24	双方向	55°C	55°C	60°C	+10°C	使用	強い	未使用
6色+W	高速モード	16	双方向	55°C	55°C	65°C	+10°C	使用	強い	未使用
6色+W	ドラフトモード	12	双方向	55°C	55°C	65°C	+10°C	使用	強い	未使用
6色+W	スーパー ドラフトモード	8	双方向	55°C	55°C	65°C	+10°C	使用	強い	未使用
6色	標準モード	24	双方向	55°C	55°C	60°C	+10°C	使用	強い	未使用
6色	高速モード	16	双方向	55°C	55°C	65°C	+10°C	使用	強い	未使用
6色	ドラフト モード	12	双方向	55°C	55°C	65°C	+10°C	使用	強い	未使用
6色	スーパー ドラフトモード	8	双方向	55°C	55°C	65°C	+10°C	使用	強い	未使用
4色	標準モード	12	片方向	55°C	55°C	60°C	+15°C	使用	強い	未使用
4色	高速モード	8	片方向	55°C	55°C	65°C	+15°C	使用	強い	未使用
4色	ドラフト モード	6	片方向	55°C	55°C	65°C	+15°C	使用	強い	未使用
4色	スーパー ドラフトモード	4	片方向	55°C	55°C	65°C	+20°C	使用	強い	未使用

※印刷モード(解像度 吐出)

標準モード(900×900dpi VD)、高速モード(1200×1200dpi ND)、ドラフトモード(1200×900dpi ND)、スーパードラフトモード(900×600dpi ND)

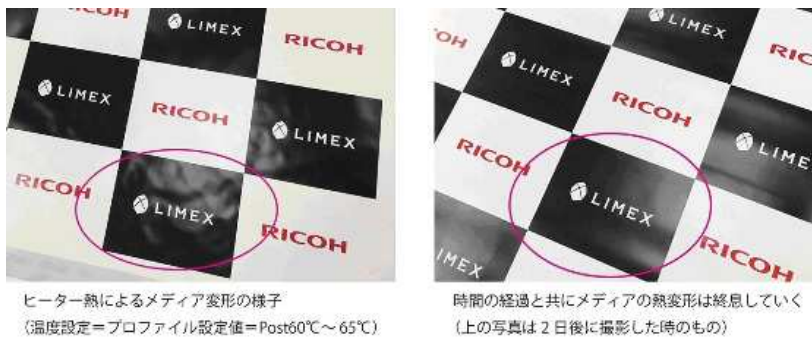
プリンター本体の設定について

- ・あらかじめヒーターの温度が低い状態で LIMEX をセットしてください。
※メディア搬送面が高温の状態で行うと、波うち(コックリング)の原因になります。
- ※ヒーター熱による LIMEX の波うち(コックリング)の様子

【出力前】



【出力後】



LIMEX に印刷する際の留意点

- ・印刷面に接着テープを貼って剥がすと、インク層が剥がれます。
- ・インクセットが4色のプロフィールは、印刷方向は“片方向”です(デフォルト)。
※ 生産性は“双方向”時の半分になります
- ・LIMEX のセットから印刷開始まで、極力時間をかけない運用を推奨します
※LIMEX は他の材質に比べて熱の影響を受けやすいメディアです。
* プリンターのヒーター部の熱で波うち(コックリング)が発生する場合があります。
- ・[キューチャク] 設定は[ツヨイ] を選択してください(デフォルトは【ヒョウジュン】)。
※RIP 上で「吸着ファンを強いに設定」される場合には不要です

トラブルシューティング

・正常に印刷完了できない場合には以下の手順、設定を試してください。

※リコージャパン(株) 大判印刷 Labo での実経験による設定です。

・推奨する印刷モードは、標準モード(900dpi×900dpi)です。

※スーパードラフトモード、ドラフトモードによるベタ印刷や高濃度印刷はバンディング発生の懸念があります。

・ヒーターの温度設定を2カ所変更します。

①Fan を 15°Cから 20°Cに変更

②Post ヒーター温度を55°Cに変更

* プロファイルのヒーター温度設定は、定着品質重視のため高温に設定しております。

一方、LIMEX は熱に反応しやすいメディアのため、プロファイルの設定温度のまま印刷すると、濃度やデザインによっては波うち(コックリング)が発生しやすい、見えやすい性質を持っています。(コックリングの状況は前頁参照)

コックリングした状態で印刷をスタートさせると、メディアにヘッドを擦ってしまう可能性が高い為
メディアセット→ノズルチェック→実印刷までを極力時間をかけずに行うことを心掛けて下さい。

(要するにヒーター上にメディアが滞在する時間を極力減らすようなオペレーション)

* 濃度やデザインによって乾燥度合いが異なります。

* お客様の許容可能な範囲で下限値を変更してください。



・LIMEX をセットしてからソフト操作・RIP 時間の待機を避けるための手段を2つ紹介します。

①メディア幅の設定を、機械による自動読み取りをさせずに、手入力する。

* RIP後に、メディアをセットすることで、セット完了直後に印刷スタートをし、熱の影響を最小限にします。(詳細手順を後述に記載)

②メディア幅を機械で自動で読み取らせた後、メディア先端を搬送ローラーまで引き戻し(後進)、プリントヒーター、ポストヒーターの影響を最小にします。またプレヒーターの影響を受ける部分を最小にします。

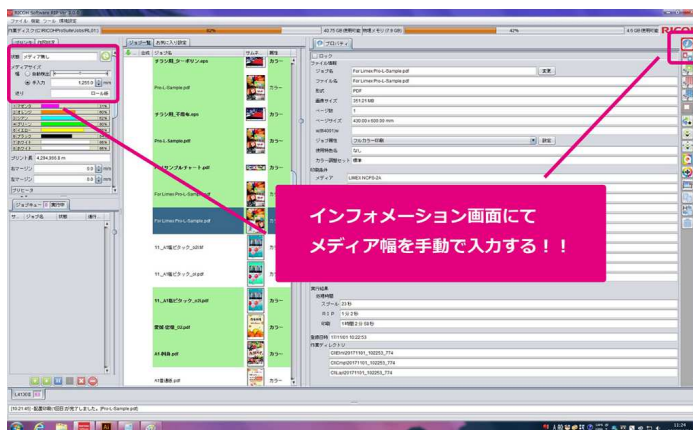
* 波うち(コックリング)が生じた場合は、波うち(コックリング)してない部分を前進させて、平滑度が保たれている部分から印刷を開始してください。

詳細手順

・メディア幅の設定を、機械による自動読み取りをさせずに、手入力する手順を解説します。

2-1-1メディア幅を定義する。

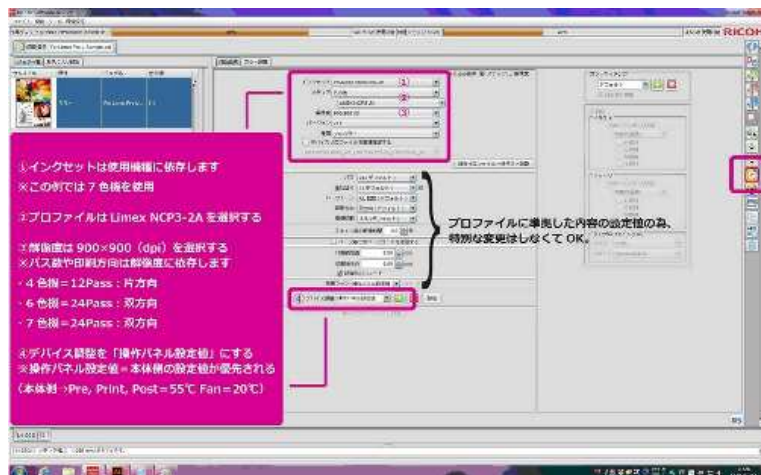
・【メディアサイズー手入力】で、1240mmを入力(Limex1270mm幅から左右白抜け幅-30mm)



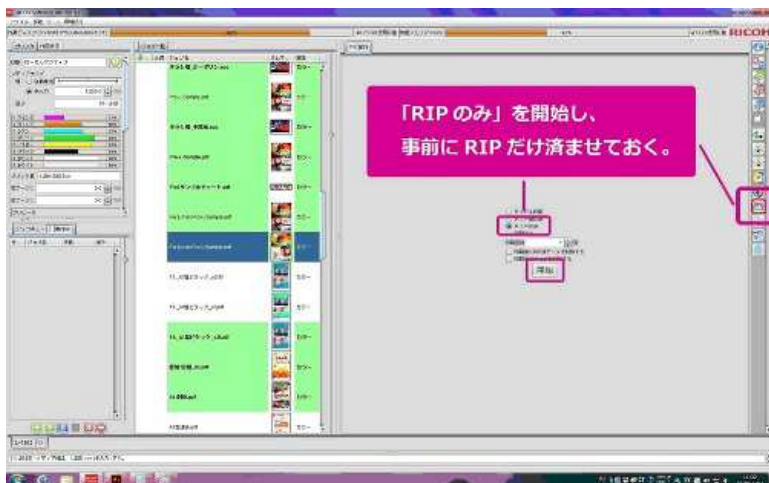
2-1-2印刷データのサイズ、枚数、面付け、印刷位置等を定義



2-1-3 印刷モードの設定をする。



2-1-4 RIPする。(RIPのみを実行し、印刷直前の状態にしておく)



2-1-5 このタイミングで、メディアを本体にセットする

2-1-6 印刷データをプリンターに転送する。(印刷のみを実行し、本体側をスタンバイにさせる)

2-1-7 本体のステータスをローカルからリモートに変更して、印刷を開始する。



リコージャパン株式会社
新規事業本部 PP事業部
IJ 事業推進室 Pro-L 販売グループ